



事務局 町田地区労
八柳 ひろ子

2026年6月号

<5/16 町田社保協総会・学習会の報告>

*学習会 : 「老いをどう生きるか」

・講師: 小川峰文氏 (特養護老人ホーム悠々園
主任 コーディネーター)

・参加 25名: 7団体23名、個人2名
(内訳: 年金まちだ 9名 新婦人 8名 他)

*アンケートを11名の方が提出され、下記に一部掲載します。

1) 特養のこと参考になりました。

2) 介護保険制度が始まってから、自立支援型に行政がシフトしていると感じています。(中略) 社会貢献でQOLを向上させることは、より判りますが「介護保険」が十分利用できないことも問題と思います。

3) これらを行う事が出来る人は幸せです。

世の中にはしたくても出来ない人が 多すぎます。公助がどんどん削減されこまっている人でも生活向上しないと 大変です。

自助共助だけではムリです。この会は行政の組織でしょうか？

4) 「創齡学」初めて聞いた言葉です。大変勉強になりました。高齢者には冷たい社会です。もう少し、その面も深まれば良かった。

5) 益々、介護が切実になってきているので、いろいろ勉強したいです。 右に続く⇒

⇒ <総会 参加: 7団体 12名>
来賓: 森氏 (東京社保協事務局長)

1. 2025年度の活動報告

- 1) 市へ59項目の要請書提出と懇談会
- 2) 健康保険証の継続など署名の取り組み
- 3) 市議会へ2件の請願提出 など

2. 2026年度の活動方針

- 1) 介護保険の改悪させない運動など
東京社保協と連帯して取り組むこと
- 2) 「なんでも相談会」実施について
検討すること。

3. 決算・予算書・会計監査

*決算の執行率について誤りがあり、訂正し報告します。

4. 6月市議会について

1) 都の広域連合に「後期高齢者の資格確認書を全員交付の意見書提出」の請願

2) 国に「患者にOTC類似薬の追加負担の実施をやめるよう意見書提出を求める」請願について討議し、請願提出します。

*2) は、5/29国会で可決を受け、下線部分を追加。

<上記2件の請願 6/1 7名で提出>

6/9 市議会にて表決されます。

傍聴よろしくお願いします。

* 6/16 (火) 幹事会 18:30~

中央公民館 学習室 6

議題 : 市への高齢者等の要請書について他